

The background is a dark teal color. It features several light teal circles of varying sizes. A solid red rectangle is positioned in the upper right corner.

安曇野市の年中行事 ～大正月～

年神様と先祖の御霊をまつるとき

正月準備

12月13日ごろ、煤掃きをします。竹竿の先に笹を束ねて簀を作り、掃除が終わった後はその簀を庭先に立ててぼた餅などの供え物をし、燃して送ります。

年中行事 正月準備

- 1 秋田 煤男
- 2 新潟 煤男
- 3 福岡 煤みて
- 4 長崎 壱岐の煤とり節供
- 5 東京 煤掃き



- 1、秋田 煤男
- 2、新潟 煤男
- 3、福岡 煤みて
- 4、長崎 壱岐 煤とり節供
- 5、東京 煤掃き

以下
柳田国男監修
民俗学研究所編
『年中行事図説』
1954年3月
岩崎書店 より

松迎

- ▶ 家の内外の山に行って、3・5・7条の枝ぶりの松を掃除が終わると、松を迎えに行きます。河川敷や自分の伐ってきます。
- ▶ 家に持ち帰った松は足を洗い、踏まれないように高いところに飾る日まで保管しておきます。
- ▶ 飾るのは30日が多く、31日は一夜飾りといって嫌われました。

松迎え

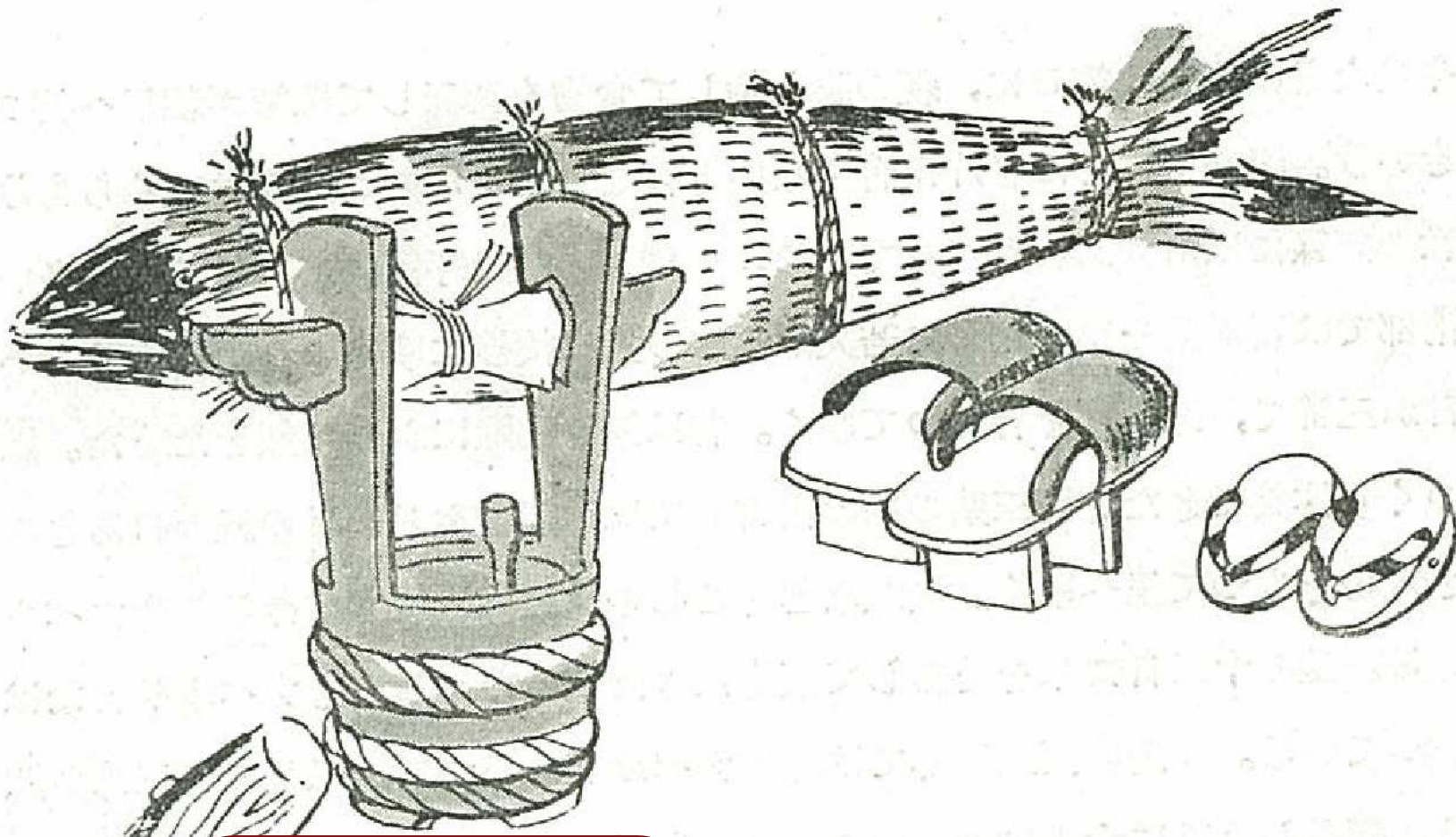
一軒の家で切ってくる松は10本近く。伐ってきた松は根元の方の皮を剥いて白い部分を出します



お歳暮

- ▶ 目下の物から目上の者へ一年間の御礼の気持ちを込めて贈るのがお歳暮。25日から大晦日ごろまでに届けました。
- ▶ 米一升に手ぬぐい一筋、或いは干し柿一串などをつけていくのが一般的でした。手ぬぐい・足袋・下駄・反物・鰯・ミカンなどもよく贈られるものでした。

歳暮



鮭・酒・下駄・タビなどはよく贈られる品物でした。

親の膳

嫁の親の家に行ってごちそうを作りふるまう習俗も県内には見られました。

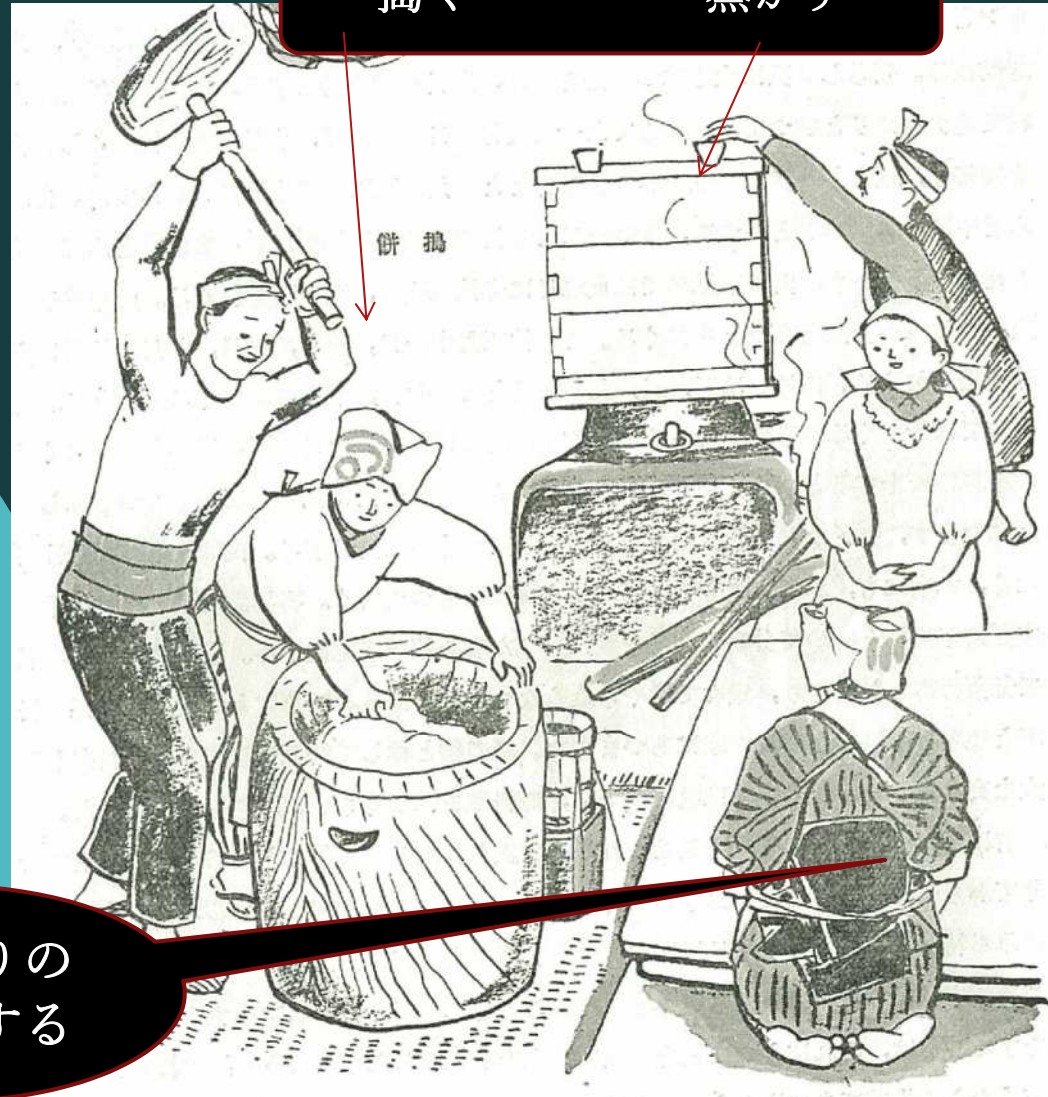


もちつき

12月28日ごろ、どこの家からも餅つきの音が聞こえてきます。昔は3升一臼として6～10臼も搗きました。最初の臼でお飾り餅を作りました。年神棚に一飾り大きな鏡餅を供えるほか、蔵、風呂、便所、物置など付属建物それぞれに供えたり、水神様などにも供えました。

搗く

蒸かす



丸めたりの
したりする

お飾り餅



松飾りの材料



松が飾られた玄関



松が飾られた神棚



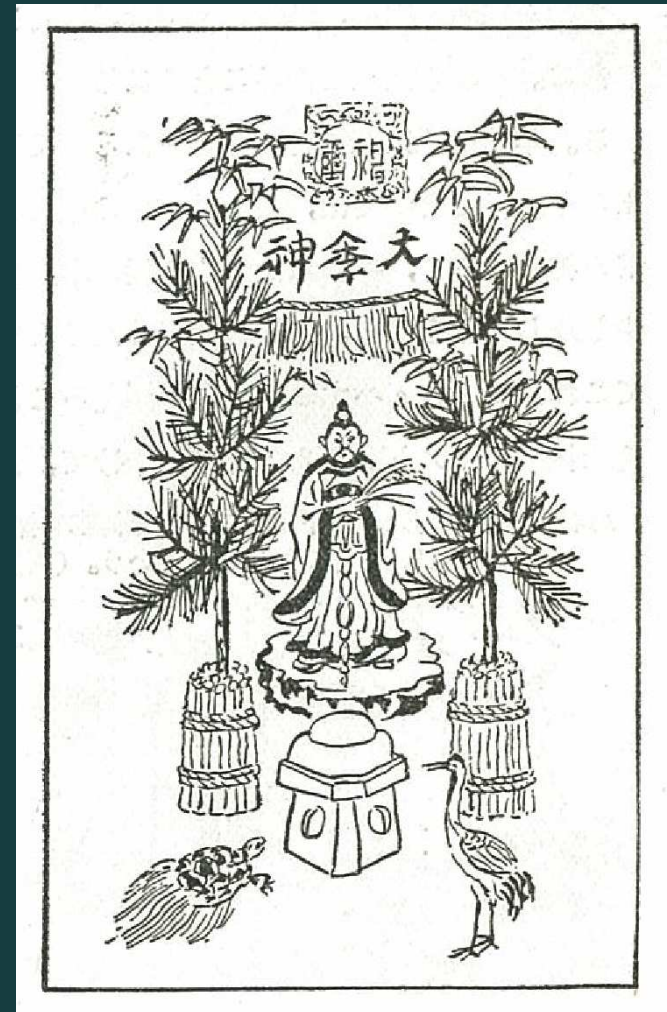
年神様をまつる 正月の床飾り



鰯の尾を供えたえびす様



お札に見る 年徳神のお姿



A top-down view of a Japanese dining table (kyozukue) set with various dishes. The table is covered with a blue and green checkered tablecloth. In the center, there is a large white bowl filled with cooked crab legs. To the left of the crab, there is a white plate with sliced strawberries and a small white dish with butter. Above the crab, there is a white plate with a portion of salmon. To the right of the crab, there is a white plate with a portion of salmon and a small white dish with butter. In the top right corner, there is a white plate with a portion of salmon and a small white dish with butter. In the bottom right corner, there is a white plate with a portion of salmon and a small white dish with butter. In the center, there is a white bowl filled with cooked crab legs. To the left of the crab, there is a white plate with sliced strawberries and a small white dish with butter. Above the crab, there is a white plate with a portion of salmon. To the right of the crab, there is a white plate with a portion of salmon and a small white dish with butter. In the top right corner, there is a white plate with a portion of salmon and a small white dish with butter. In the bottom right corner, there is a white plate with a portion of salmon and a small white dish with butter. The table is also set with various other dishes, including a bowl of rice, a bowl of soup, and a bowl of sashimi. There are also several small white dishes and a teapot. The overall atmosphere is one of a traditional Japanese meal.

年取り（大晦日・年越し）



ミタマの飯
年取りには仏様
も祀ります



正月さんはどこから ござる？

- ▶ 正月さん どこまでござった きりぎり山の下までござった
お土産に何もって 小豆俵に米俵
- ▶ お正月アんどこまで 坂東山の麓まで 木ッぱのような餅
しょって 油のような酒しょって
ござった、ござった (栃木)
- ▶ お正月アんどこまで 万丈山の腰まで 赤い餅に白い餅を
松葉にさしてござる (群馬)
- ▶ 正月さんはどーこ どこ
万燈山の裾の方 白い箸にバボを挿いて
食いきり 食いきり 今日ござる (鳥取市用瀬町鹿子)

正月のごちそう・晴れ着はいいぞ～

◆正月せえもんはいいもんだ コッパのようなトト食って
豆腐のような餅食って 正月せえもんは良いもんだ（長野市）

◆正月はええもんだ
赤い“べべ”着て 羽子(はね)ついて 譲りの葉のよな餅食って
雪(ゆーき)のような“まま”食って
木片(こッぱ)のような魚(とと)添えて
正月は ええもんだ
芋(いも)煮て 隠(かく)いて
蕪(かッぶら)煮て 突き出(だ)いた（愛知県）

正月様ってどんなお姿？

- ▶ 鹿児島県甕島＝首なし馬にまたがって鈴を鳴らしながらやって来て丸い年玉の餅をもって来てくださるトシドン・年爺さん（老人）
- ▶ 佐賀県小城郡＝年神様は頭の長い老人
- ▶ 岡山県阿哲郡＝若年さんと呼ぶ。一本足の神さん
- ▶ 種もみの俵に松を立て年俵といって祭壇にする＝稲魂であり農耕神である
- ▶ 先祖の霊という性格も持つ＝御霊の飯を供える

珍しい便所の年取り

長野県下伊那郡阿南町新野12月



12月31日 自分たちの年取りの前に、大便所の戸を開けて主人と年神様の汚染をお供えし、一年間お世話になったお礼をします。一口ずつご飯を食べて、儀礼は終わります。

正月の供え物は年男が行う



氏神様へ二年参りに お願いすることはいろいろ



若水 元旦早朝に行います

これも年男の仕事と
している地域が多く、
汲んだ水でお茶を沸
かし、歯固めを食べ
ながらお茶をいただ
きます。



雑煮にも若水を使いました。堀金



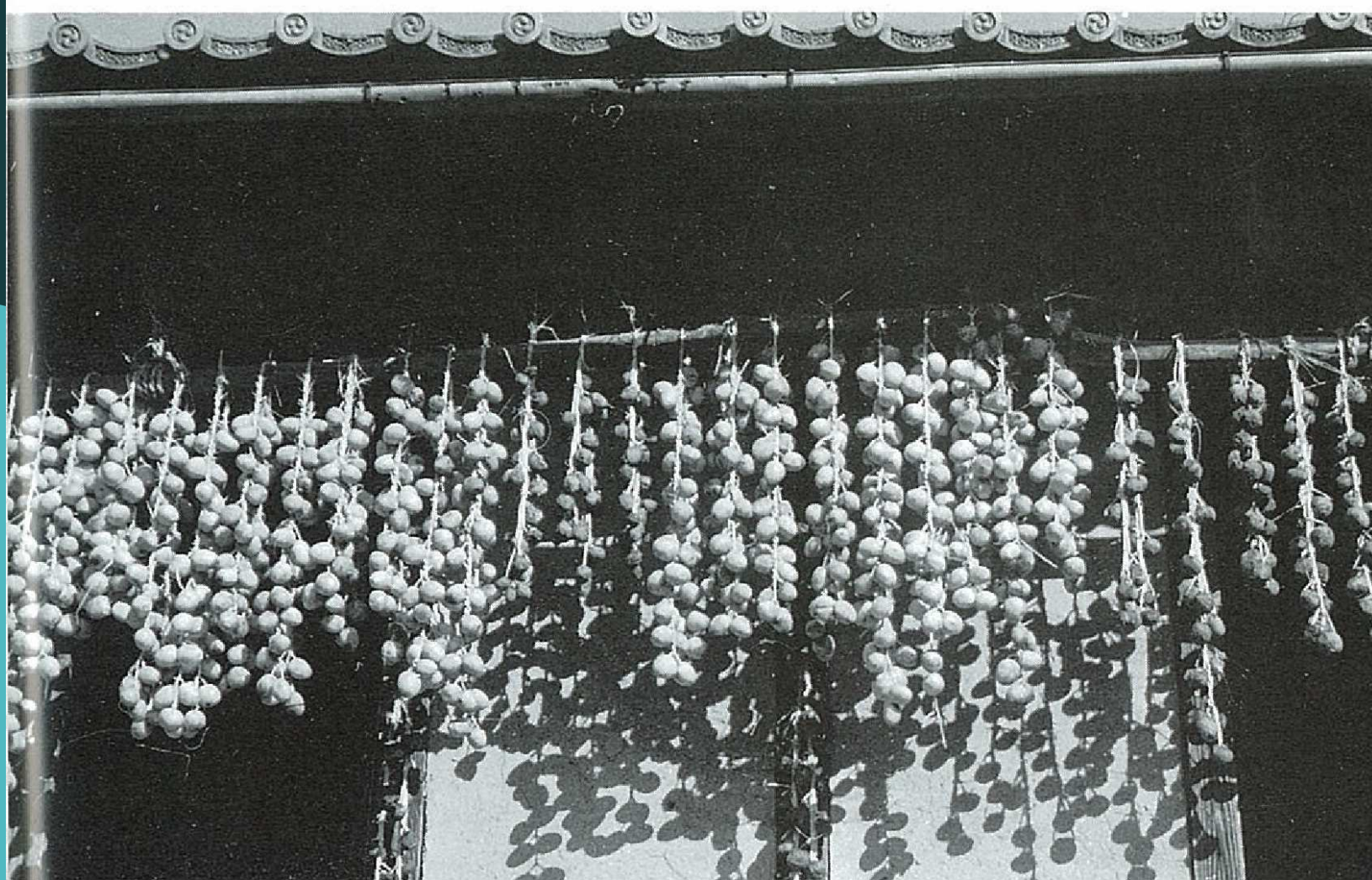
家によって雑煮の具はいろいろ
です。明科



元旦、餅なし正月といってイモ汁を食べる家がたくさんあります。



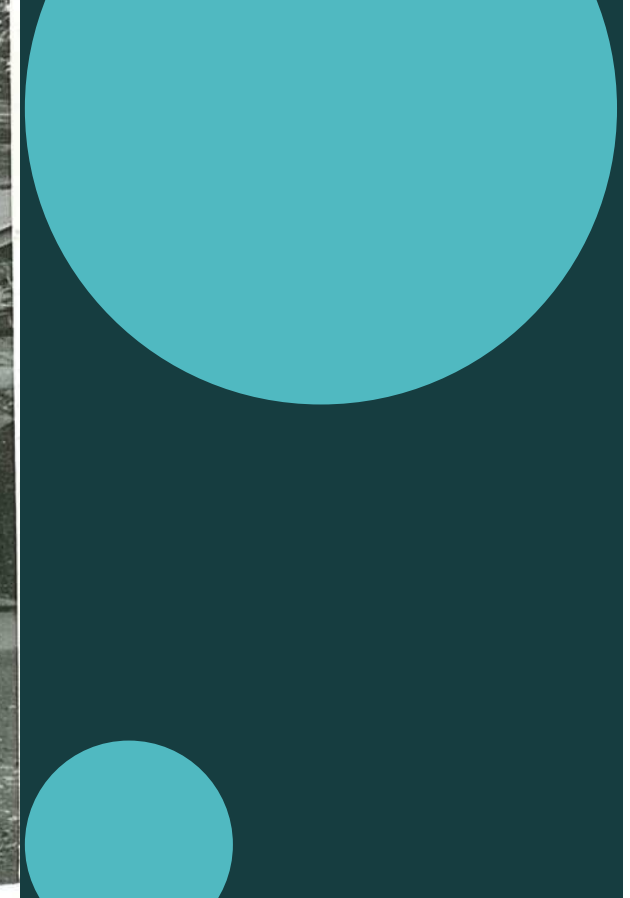
歯固め・茶菓子のための干し柿



正月の子どもの遊び 凧揚げ



正月の晴れ着で羽根つき



仕事はじめ・初夢

正月2日は仕事始め。男衆はスゲ縄、馬の沓、草鞋、草履などを作ってえびす様に供え、雑煮かいも汁をそなえました。女衆は針仕事をしました。

湯殿ぞめといって風呂を立てて入りました。

商店では初売りをし、販売のための荷物を荷車などにいっぱい積んでおかめの面や日の出の扇などを立て街路をにぎやかに通っていきました。

この夜は舟などを折って枕の下に置き、いい夢を見るように願って眠りにつきました。悪い夢を見たときは舟を川に流してしまいました。

七草

1月7日、各所にお供えしたものを下ろし、七種の野菜を入れて作った七草粥を作ってお供えしたり食べたりします。

七草を刻むときは、年神棚の下にマナイタを置き、まな板の上に十能や火箸など音のするものを置いて、「七草ナズナ 唐土の鳥と日本の鳥が渡らぬうちにストントントン たたきなせ～」などと唱えて刻みます。

この粥を食べると一年息災で暮らせるといわれています。

七草粥を供えた後、外飾りを外します。

七草のセットと粥



7日で大正月が一段落

1月7日七草をすませ、外飾りを外すとおお正月は一段落し、次の13日ごろから準備される小正月へと意識が向いていきます。

現在はこの日あたりに三九郎が行われ、松飾りも三九郎で燃されて年神様は送られてしまいます。